

スクールソーシャルワーカーの効果的な人材育成に向けた専門職団体の役割

一般社団法人 静岡県社会福祉士会

〒420-0856 静岡県静岡市葵区駿府町 1-70 静岡県総合社会福祉会館 4階

助成事業の概要

1. 目的

今、日本で問われ、求められているスクールソーシャルワーク（以下、SSW）のあり方及び、そのなかでスクールソーシャルワーカー（以下、SSWr）に期待されている役割と課題について考え、SSWrのスキルアップを図る学びの機会を提供する。

2. 日程・会場

①平成29年6月24日（土曜日）

13:00～16:30

静岡駅前会議室B館 大会議室B301号

②平成29年10月28日（土曜日）

12:30～17:00

静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ 908会議室

3. 内容

①スクールソーシャルワーカーの初任者を対象にした、講義・講演とグループディスカッション

②基調報告、パネルディスカッション（3名のSSWrによる実践報告）、グループワーク（研修の振り返り～日頃の思いの分かち合い&ネットワーク作り～）

事業の成果

現在、静岡県下の各市町の教育委員会による「SSWr活用事業」については、それぞれの教育行

政の独自性、教育委員会の考え方などによりさまざまな展開がされている。また、浜松市と静岡市を除く他の市町におけるSSW実践を取り巻く現状には、今後の方向性が不明確であるなど多くの課題が指摘されている。

そのような状況において、今回のシンポジウムには、自らの実践の中身を検証し、今後のSSWのあり方について自主的に学ぼうとする方々が参加した。

基調報告においては、SSWの概念、機能、役割などに関する基本となり大切な内容についての講義を通して、受講者は自らの日々のSSW実践のあり方を論理的に再整理する機会となった。

パネルディスカッションにおいては、3名のSSWr（菊川市、富士市、浜松市）による実践報告の後、受講者も交えての意見交換の時間を持ち、その議論を通して受講者はSSW実践がいかに多様な実践であるかについて触発され、さらにSSWrとして留意すべきスタンス（価値観など）について再認識する機会となった。

グループワークにおいては、さまざまな市町で仕事するSSWr どうしが、自らの日々の仕事を通して抱いている思い、疑問、不安、悩みなどについて語り合うことを通してシェアする時間となり、さらに自らのSSWrとしての仕事の意義を再考する機会となった。

本シンポジウム全体を通して、受講者にとってエンパワーされる時間と新たなネットワーク作りをする機会を提供することができた。

■ 成果の広報・公表

本シンポジウムにおける成果については、以下のような形での広報などを通して活用していく。

- ・静岡県下の各市町のSSWr全員にフィードバックしていく。
- ・静岡県下の県市町の教育委員会の指導主事にフィードバックしていく。
- ・静岡県社会福祉士会の理事会、こども家庭福祉委員会にて報告する。
- ・こども家庭福祉、教育などをテーマにして開催されるさまざまな研修会などの場で、本シンポジウムの取り組みをはじめ、現在のSSWを取り巻く現状と課題について報告する。

■ 今後の展開

近年、児童生徒を取り巻く学校、家庭、地域社会の状況は深刻さを増しているなか、文部科学省によりSSWr拡充の動向が示され、SSWrに対する期待が高まってきている。2017年1月には報告書『児童生徒の教育相談の充実について～学校の教育力を高める組織的な教育相談体制づくり～』が出され、今後のSSWのあり方について指針が出された。SSWが注視されてきているということは、一方でSSWr個々の実践内容並びにSSWr全体の「質の担保」が問われてきているということである。SSWを取り巻く状況は、チャンスと同時にピンチであるともいえよう。

このような動向を踏まえ、今後も静岡県下のSSWrの「質の担保」を図り、その育成及びSSWの啓発（社会的意義を伝えるなど）のための研修会を継続開催していく必要があると考えている。